

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
工業	ソフトウェア技術	3	3年次・M	選択

目 標		履修の条件・連絡			
<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータのソフトウェアに関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。 ・コンピュータを運用し、活用するために必要となるオペレーティングシステムやアプリケーションプログラムに関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育成する。 ・学習を通して、パソコン利用技術検定の資格を取得する。 		ハードウェア技術、プログラミング技術実習と併せて履修すること。			
使用教科書 (出版社)	ソフトウェア技術 (実教出版)	副教材 (準備物)	全国工業高等学校長協会 パソコン利用技術検定試験演習問題集2級 (全国工業高等学校長協会出版)		
学 習 の 年 間 計 画	期	月	学 習 内 容 (単元・項目)	学 習 の ね ら い	
	1 学 期	4月	第1章 ソフトウェアの基礎 1 ソフトウェアの重要性 2 ソフトウェアの分類 3 システムソフトウェア 4 応用ソフトウェア 5 ソフトウェアパッケージ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを動かすために重要なソフトウェアの概念とその基本的なことがら、役割、機能、ソフトウェアの種類による位置付けについて理解する。 	
		5月		<ul style="list-style-type: none"> ・実際に市販されているソフトウェアパッケージの用途・機能・基本操作などについて、コンピュータを操作し、習得する。 	
		6月	第2章 オペレーティングシステム 1 OSとは 2 制御プログラム 3 プログラム言語 と 言語プロセッサ 4 ユーティリティプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレーティングシステムの概要、オペレーティングシステムの中核をなす制御プログラム、言語プロセッサやユーティリティプログラムについて理解する。 	
2 学 期	9月	第3章 ファイル 1 ファイルの概念 2 ファイルの構造と設計 3 入出力処理とデータ管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイルの工夫である、大量のデータをコンピュータで処理しやすいように記録し、長期保存するためのしくみについて理解する。 		
	10月		<ul style="list-style-type: none"> ・ファイルの概念、ファイルの構造、ファイル処理の技法について理解する。 		
	11月	第4章 1 データベースの概念と構成 2 関係データベースとSQL	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の蓄積・管理・利用を中心に考え出されたデータベースシステムについて学び、データベースを実際に構築し、利用する操作方法について習得する。 		
	12月	第5章 1 ソフトウェアの権利と保護 2 ソフトウェアの信頼性と標準化	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェアの保護と管理について正しい知識を得るとともに、ソフトウェアの標準化や開発工程などについて理解する。 		
3 学 期	1月 2月 3月	3 システムの安全対策と運用管理 家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータシステムの安全対策について理解する。 ・インターネットの普及にともない、身近な存在となってきたコンピュータネットワークについて、そのシステムの概要やネットワーク上で情報をやり取りするためのいろいろなきみについて、実際にインターネットを利用するなどして理解を深める。 		
学 習 評 価	観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	規 準	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に積極的に参加しているか。 ・ソフトウェアに関する諸課題に関心を持ち、その改善、向上を目指して取り組んでいるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェアを広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を生かして適切に判断し、創意工夫する能力が身に付いているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを用途に応じて適切に活用することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア特徴を理解し、その用途に応じた利用方法を習得できているか。
	手 段	<ul style="list-style-type: none"> ・参加の仕方や態度 ・課題・ノートの提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト ・質問に対する対応 ・課題の内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・制作した作品の内容 ・ノートの内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・制作した作品
	各学期や年間の学習状況の 評価方法	定期考査の成績を70%とし、作品、提出物・ノート・忘れ物・授業態度 ・出席等の平常点を30%として100点満点とする。			
学習上 の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを充分活用し、自主的に問題解決に臨むこと。 ・授業での理解を確実なものにするために、予習・復習を行うこと。 ・作品、レポート、課題プリント等の提出物は期限を厳守すること。 				